資料 6

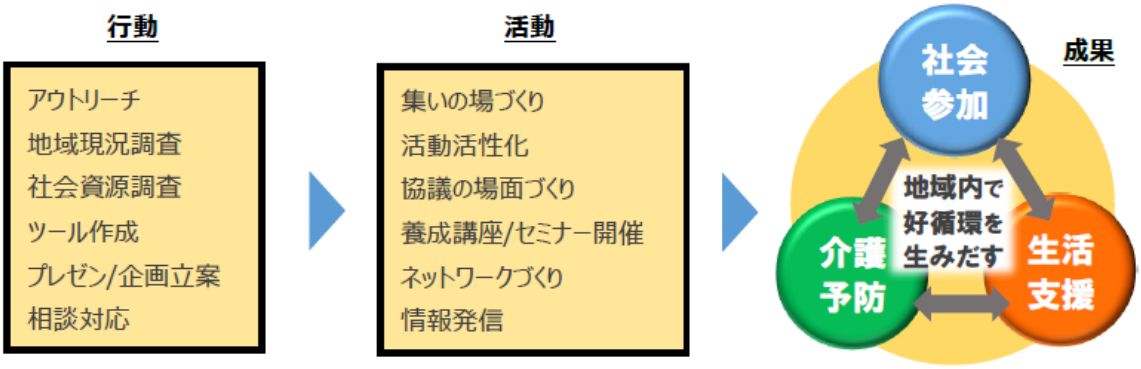
生活支援コーディネーターについて

1　業務概要

○目　　的：超高齢社会の課題対応として、地域における「介護予防」と「生活支援」の取組みを充実させること

○内　　容：地域の現況をアウトリーチにより把握し、住民が主体的に必要な資源を創出するためのコーディネートを実施

○実施方法：社会福祉法人堺市社会福祉協議会へ委託により実施



社会的インパクト　地域活動が活発になり、社会参加の機会や介護予防/生活支援の取組みが充実する
→在宅生活ニーズの実現、要介護等認定者や介護保険給付費の減少にもつながる

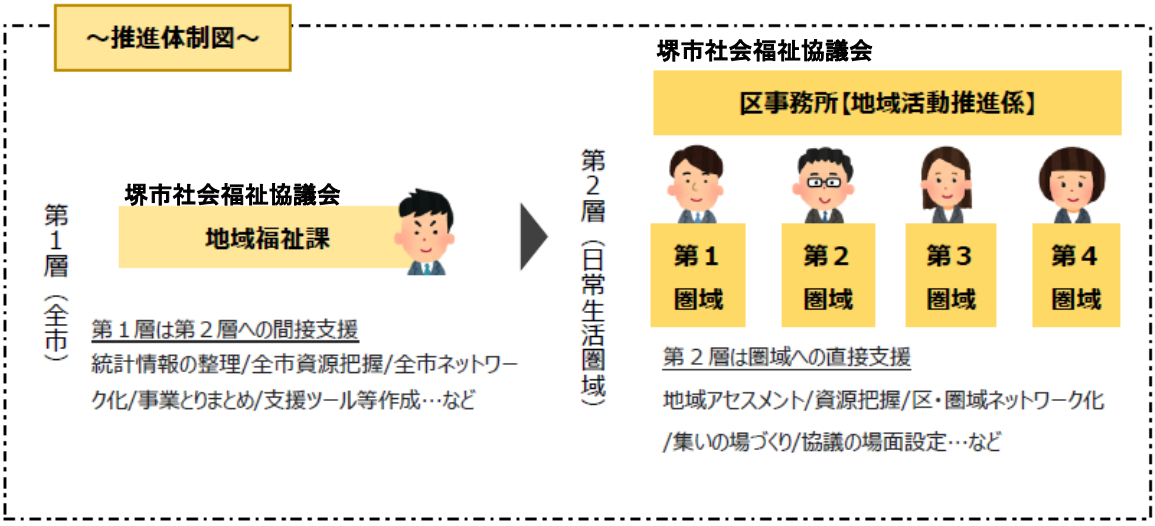
2　事業体制

○第１層生活支援コーディネーター（１名）…全市を担当

○第２層生活支援コーディネーター（１２名）…日常生活圏域（概ね２中学校区）を担当

- 平成２９年度は中区（３名）・南区（４名）の２区に先行配置
- 平成３０年度は堺区（３名）・東区（２名）の２区に配置拡充
- 平成３１年度以降も配置区拡充の予定

※第２層生活支援コーディネーターは、コミュニティワーカー（ＣＯＷ）及びコミュニティソーシャルワーカー（ＣＳＷ）の役割を併せ持つ、「日常生活圏域コーディネーター」として社会福祉協議会各区事務所に配置



３　実践内容

アウトリーチを中心に地域とのコミュニケーションを重ね、地域の現況調査や社会資源情報の整理を行い、地域に必要な場面づくりに取り組んでいる。

（１）地域現況調査

- 地域特性の把握や分析を行い、地域組織が抱えている課題や必要な資源を確認し、シート等で可視化
- 国勢調査データや高齢者人口データを活用し、校区単位での経年比較等を実施

（２）社会資源調査と活用

- 地域における福祉活動や集いの場などの資源（ソフト）の整理
- 施設等の資源（ハード）の整理

（３）情報発信／事業理解の促進

- 第１層生活支援コーディネーターが中心となり、多様な主体への事業理解や問題提起を促す実践報告を実施
  （平成２９年度）２０回開催、８９０名参加
- 第２層生活支援コーディネーターが集めた情報を基に広報媒体を作成し、区エリアでの事業理解の促進や社会資源情報の発信を実施
  （平成３０年度）シニアのくら誌（南区）年４回発行

（４）社会参加／生活支援／介護予防につながる場面づくり

（平成２９年度）把握／関与したプロジェクトは８７件

このうち、

新たな集いの場の創出に関するもの	３３件
既存の活動の活性化に関するもの	２４件

↓

活動の参加者・・・７９０名の増加
（うち、高齢者は４７０名の増加）

（平成３０年４月～９月）把握／関与したプロジェクトは１７５件

このうち、新たな集いの場の創出に関するもの　５８件
既存の活動の活性化に関するもの　５５件

４　協議体の実施

生活支援等サービスの体制整備については、多様な主体の参画が効果的な取り組みにつながる。このため、市町村が主体となって、生活支援コーディネーターと多様な提供主体等が参画する情報の共有・連携強化の場として「協議体」を設置することとされている。

今年度、本市では、「さかい地域応援プロジェクト」と題し、地域住民で組織される団体や、企業、NPO 等の多様な主体に参加を呼びかけて、８月８日に開催した。

1 さかい地域応援プロジェクト

2018.08.08.Wednesday　堺市社会福祉協議会　発行

実践報告【宮園校区福祉委員会 / 中区つむぎの会】

宮園校区福祉委員会　丸尾委員長　　株式会社PEACE　仲氏昌平氏

口.多くの応援を受けて

高齢化率が約50%となる宮園校区では、地域活動が活発に行われる一方で、担い手は負担や将来への不安を抱えていました。試行錯誤を繰り返しながら、現在はうまく企業や学生などの応援を得ながら、活動展開や買い物困難などの地域課題の解決に取り組まれています。

口.できることからはじめる

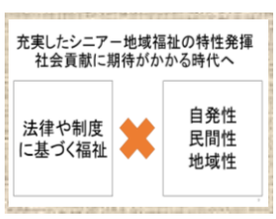
中区つむぎの会は「地域のために何かしたい。」という想いを持った、法人や事業所の自主的で自由な集まりです。会での出会いとつながりを強みに変えて、今までの地域活動とは少し違う切り口での、地域交流イベントや子ども食堂などの活動を展開中です。

中区つむぎの会　検索

※詳細はフェイスブックをご確認ください

話題提供 ～福祉の転換を創る時機～

大阪府立大学　小野達也教授



あなたの考える自助-互助-公助の割合は？

会場では3分割にした方もいれば、互助を半分以上の割合とした方など、人や立場によっての違いが表れた結果となりました。

マイナスからゼロで終わらない　理想の福祉の実現へ

いままでの最低限度の保障としての福祉から、幸福としての福祉。個人の自己実現と地域社会の継続発展に意識を持っていくことが重要となります。充実したシニアの暮らしを実現する上で、地域特性の発揮や社会貢献に期待がかかる時代となっています。

当日は多様な企業・団体等が参加

第1回目で、「この場がどのような場なのか…」と想いがあるなか、当日は多くの企業・法人・団体からご参加いただきました。会議終了後、会場にたくさんの方が残って、名刺交換や情報交換を行っていたのが印象的で、何かこの場がキッカケに生まれる可能性を感じることができました。

最初の第一歩

知る・つながる・はじめる

堺市では約23万人の高齢者が暮らしています。今後の予測では75歳以上の方が増え、何かしらの支援を必要とする方が増加します。すでに堺市は支援を必要とする人（要介護等認定者）の割合が非常に高く、予防への仕掛けが急務となります。

この場の趣旨は、堺市の高齢者に関する情報を「知る」ことから始め、多様な主体間の「つながり」を通して、アクションを「はじめる」こと。足りない資源や多様な選択肢を創出することから、高齢者の介護予防に結び付けることをねらいとしています。

堺を「シニアになっても元気で充実した暮らしが実現できるまち」にするための第1歩を、この日踏み出しました。

参加団体一覧

企業・法人等

無印良品　堺イオンモール北花田
大阪いずみ市民生活協同組合
認定NPO法人サービスグラント
特定非営利法人ccoi-oito
株式会社オージースポーツ
大阪ガス株式会社
社会福祉法人　福生会
社会福祉法人　堺福祉会
有限会社アネット
株式会社Merycare
株式会社PEACE

地域団体

宮園校区福祉委員会
土師校区ボランティア部
登美丘西校区
高倉台校区

その他

大阪府立大学
すきや堺介護サービス事業者協議会
SS倶楽部
今日用倶楽部

関係者

堺市長寿支援課
堺市地域包括ケア推進課
堺市社会福祉協議会

※順不同　敬称略

計44名

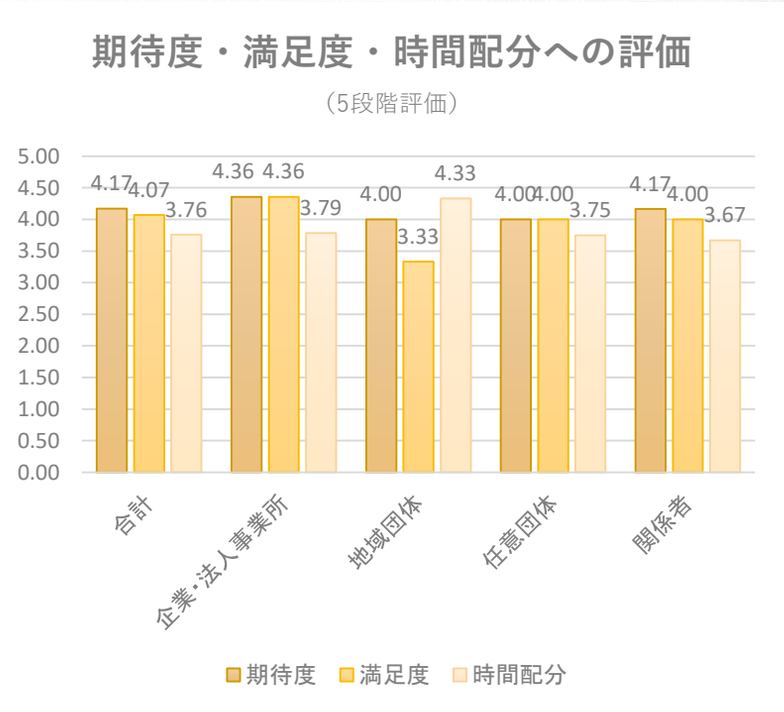
※次回は未定
（今年度中に第2回を開催予定）

～本レター作成～
堺市社会福祉協議会　地域福祉課（担当：下田）
TEL：072-232-5420　Fax：072-221-7409

参加者の感想　～事後アンケートより～

😀 知る・つながる場としてよかった　　😟 交流の時間が短い…

- これからだと思いますので、前を向いて手を取り合っていけたらと思います。お知恵を貸してください
- 顔の見えるプラットフォームの今後に期待大
- 多方面の方々にお会いできました
- 地域が企業の想いを知る機会としては有効であると感じた。また企業もCSRをどのように実施したらよいのかを知る機会となると感じた
- 事例報告も良かったです。色々な方のお話を聞けてよかったですが、時間的に少し消化不良です。
- わかっている様なわかっていない様な進めていくことについての話がほしかった
- 第1回目として今後どのように発展するのか楽しみです
- ほとんどの方が初顔合わせという場
- 立場による意見が違う。当たり前が再認識
- 地域の良い事例が知れた
- 民間企業の方々の強みが意識できた
- 地域・企業の方々と交流できたこと。生の声でニーズや想いをお聞きすることができた
- 現状の理解につながった。会の紹介をさせていただけた
- 新鮮なお話を聞くことが出来て、大いに満足です。
- 堺市に共感できる、同じ志を持った方々がいることにポテンシャルを感じました。
- 寄付・ボランティアだけでは今までと変化は望めないと考えている（活動を否定している訳ではありません）
- 皆さんもっと話したいことがあったのだろうなと思うくらい、グループワークも終了後の名刺交換も盛り上がっていて、それを見て満足感が沸きました。
- 地域や他社さんの取り組みを具体的に聞けたし、つながりが広がったので
- 新しいつながりと取り組みを知れました。
- 自分の目線とは違う意見が聞けて良かったです
- ばくぜんとしていた課題が、少し具体的なものとなったように思います。
- 地域におろして実施するには連合自治会、福祉委員会がリードしないと無理。参加者の業種が広すぎる
- 具体化する参考意見を得られた
- 期待通りだった
- 地域の方との直接お話ができる機会が得られた
- 新しいつながりができそう
- 理解している内容ではあったが、具体的事例が聞けた
- 熱い想いをもつメンバーの話がきけた



主催者の感想

「さかい地域応援プロジェクト」は、日常生活圏域コーディネーターの取組みのひとつとして、堺市・堺市社会福祉協議会の共催により開催いたしました。予定時間終了後の皆様の情報交換の様子から、多様な主体がつながることによって新たな取組みが生まれる可能性を大いに感じることができました。

アンケートの結果からは、この取組みに対する期待が高かったことがうかがえます。その一方で期待を超える満足感を得られていないようにも見受けられます。皆様からいただいた感想や意見を踏まえ、次回がよりよいものになるよう検討をしていきます。

今後も「シニアが元気に暮らし続けるまち」をコンセプトとして、様々な取組みを行っていきますので、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

堺市健康福祉局長寿社会部長寿支援課地域福祉係　鷲見

お問い合わせ

堺市社会福祉協議会＿地域福祉課（担当：下田・増岡）
TEL :072-232-5420㈹　FAX : 072-221-7409
Mail:chiikifukushika@sakai-syakyo.net